

加東市地域福祉計画

加東市社会福祉協議会地域福祉推進計画 策定のための

地域福祉に関する意識調査

報告書

- 福祉団体
- 区長・自治会長

令和 6 年 2 月

加東市・加東市社会福祉協議会

目 次

I 調査概要

1 調査目的	1
2 調査方法と内容	1
(1) 調査対象と抽出方法	1
(2) 配布数・有効回収数・回収率	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査時期	1
(5) 主な調査項目	1
(6) 数値等の基本的な取り扱いについて	2

II 調査結果

福祉団体

1. 団体の活動について	3
2. 活動を行う上での困りごとについて	4
3. 地域の課題について	8
4. 行政や社協に求めることについて	12
5. 活動をしていて良いことについて	13
6. 地域福祉の推進について	16

区長・自治会長

1. 地区・自治会運営の困りごとについて	19
2. 地域の課題について	23
3. 行政や社協に求めることについて	26
4. 地域福祉の推進について	30

I 調査概要

1 調査目的

加東市地域福祉計画・加東市社会福祉協議会地域福祉推進計画を策定するにあたり、本調査を通して福祉団体、区長・自治会長の皆様の福祉に関する考えや意見をうかがいました。

2 調査方法と内容

(1) 調査対象と抽出方法

【福祉団体】

- 調査対象:福祉団体 17団体
区長・自治会長 96名
- 抽出方法:有意抽出法

(2) 配布数・有効回収数・回収率

- 配布数:福祉団体 172票
区長・自治会長 96票
- 有効回収数:福祉団体109票(内訳:郵送回答81票、Web回答:28票)
区長・自治会長65票(内訳:郵送回答45票、Web回答:20票)
- 回収率:福祉団体63.4%
区長・自治会長 67.8%

福祉分野	配布数
高齢	45
障害	15
子育て	36
若者	6
福祉従事者	2
当事者団体	4
防災	5
ボランティア	42
上記以外	17

(3) 調査方法

郵送による配布・回収およびWebアンケート

(4) 調査時期

福祉団体:令和5年10月～11月27日
区長・自治会長:令和5年11月30日～12月25日

(5) 主な調査項目

福祉団体

- ・団体の活動について
- ・活動を行う上での困りごとについて
- ・地域の課題について
- ・行政や社協に求めることについて
- ・活動をしていて良いことについて
- ・地域福祉の推進について

区長・自治会長

- ・地区・自治会運営の困りごとについて
- ・地域の課題について
- ・行政や社協に求めることについて
- ・地域福祉の推進について

(6) 数値等の基本的な取り扱いについて

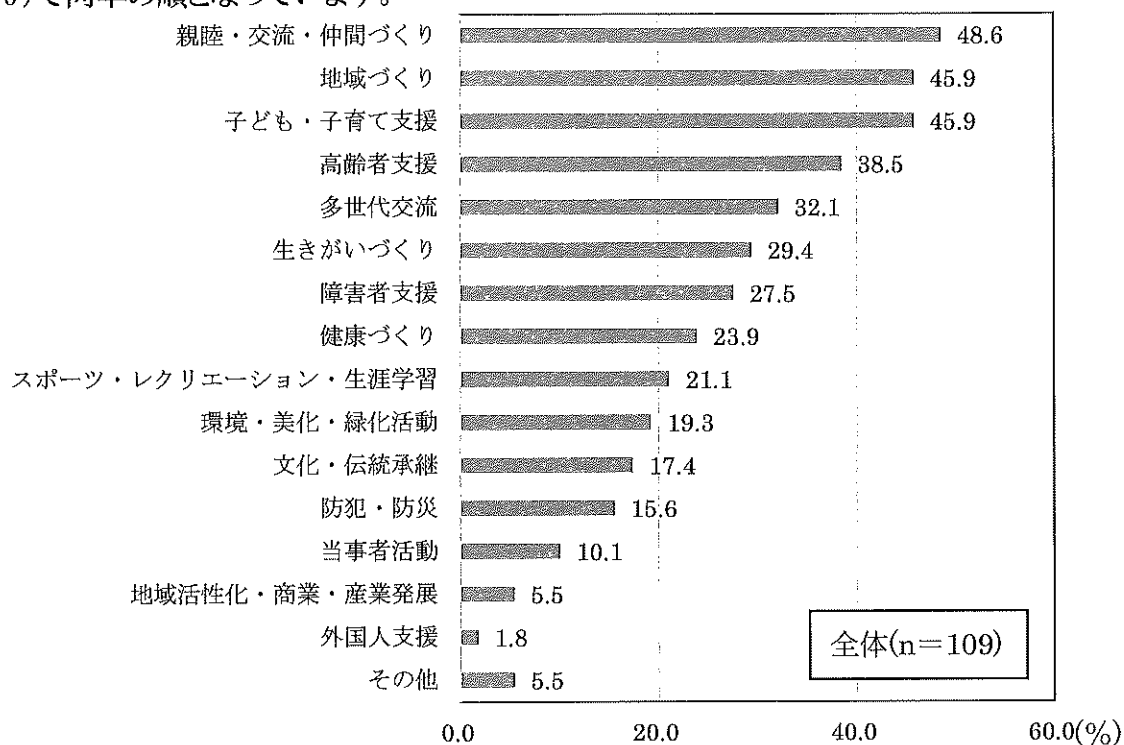
- ・比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。(回答者総数または該当者数)
- ・質問の終わりに【複数回答可】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であるため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の数値や選択肢の文言は、一部省略・簡略化してあります。
- ・質問の選択肢は、基本的に「 」で表しています。

Ⅱ 調査結果

● 福祉団体

問1 貴団体の活動目的は何ですか。【複数回答可】

「親睦・交流・仲間づくり」が(48.6%)と最も高く、次いで、「地域づくり」「子ども・子育て支援」(45.9%)で同率の順となっています。



■その他

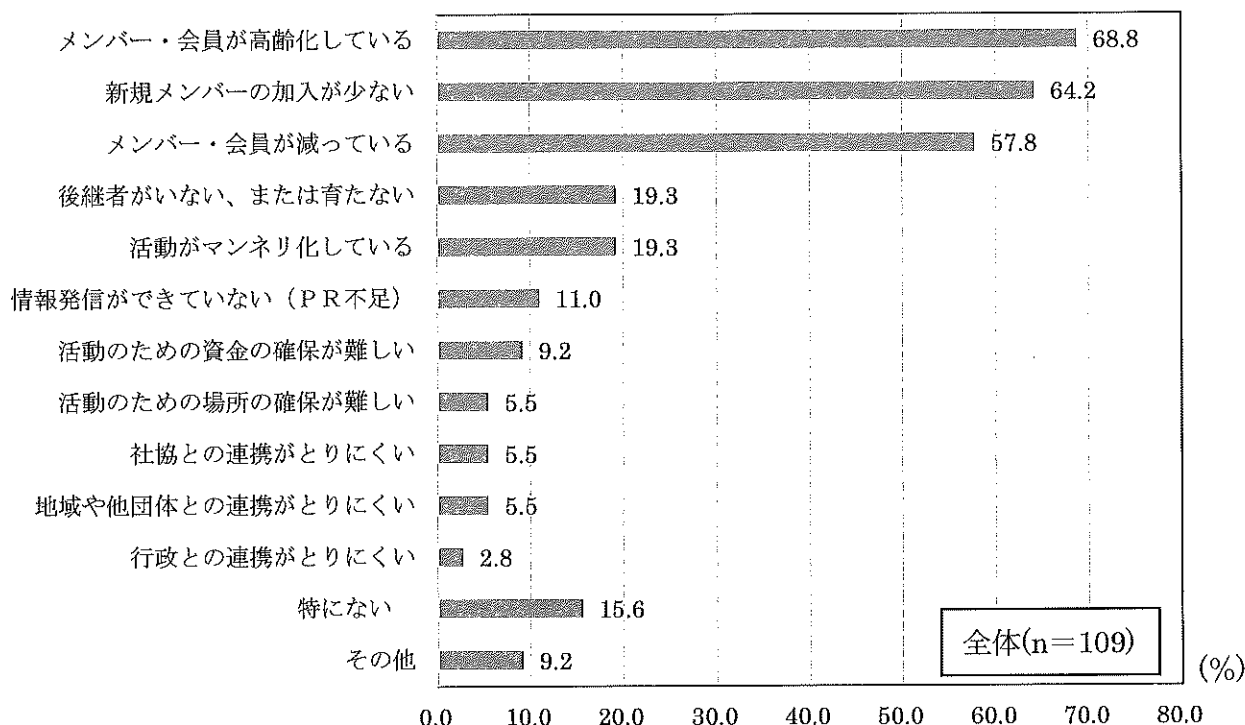
- ・ 子供会と共同で地域農道にスイセン植えを行っている。
- ・ ひきこもり防止、不登校支援。
- ・ 学習支援。
- ・ 子育て支援では男性の参加も増えてきました。
- ・ 地域の各種団体の活動を盛り上げる。

■選択項目の補足意見

- ・ 放課後等デイサービス。
- ・ 行政、社協とのパイプ役。
- ・ 互助の必要性についての啓蒙活動。
- ・ PTA 総務委員。
- ・ 戦没者家族の福利厚生等。
- ・ 学習支援、居場所づくり。
- ・ 地域の交流を行っている。
- ・ 三世代交流グランドゴルフ、コスモス花見等地域の繋がり作り。

問2 活動を行う上で困っていることは何ですか。【複数回答可】

「メンバー・会員が高齢化している」が(68.8%)と最も高く、次いで、「新規メンバーの加入が少ない」(64.2%)、「メンバー・会員が減っている」(57.8%)の順となっています。



■その他

- ・役員のなり手がいない。
- ・会場に行く手段がないため、参加できない。
- ・会員減少により会費も減った中で、会議室を有料で借りることが痛い。
- ・シニアクラブ役員（会長、会計等）の成り手がいない。
- ・地域他団体とは交流している。一緒に活動しています。
- ・会員と子どもで三世交代交流を行ってはいるが、子どもの数や習い事などで、参加者がだんだん少なくなって活動が出来にくくなっている。
- ・最近、人形劇の舞台、大道具等の置き場所に困っていましたが社協さんに貸していただいた部屋に置かせてもらうことになりました。
- ・コロナ禍のためボランティア養成講座の開催が少ない。

■選択項目の補足意見

- ・社会福祉法人全体でどの業種についても人材不足に相当の問題を抱えている。職員の賃金改善についてもベースアップは困難で、社会的にみると大きな問題であると感じている。
- ・ボランティア団体に参加するのは面倒くさいとか、役員にされたら困るとか、人のために何かをするといったことに関心がないのか、若い方々の入会がなかなかスムーズにいかないのが悩みのところ。
- ・協力農家さん次第のところがある。農家さんに体調不良等が発生する、または資材費の高騰が続くと、この内容のままの活動を続けるのは難しくなる…と感じている。
- ・利用会員は増えるが、支援側の会員が増えない。
- ・社協の会議室が有料になったことが大打撃です。
- ・社協の事務局にいつも助けていただきながら活動しているので、困ったことはないです。
- ・コロナ禍のため活動が減っている。
- ・ボランティア対象のリスナーさんも減少している。

問3 問2の困っていることに対して、必要だと思う取り組みや活動・施策など、具体的なアイデアはありますか。

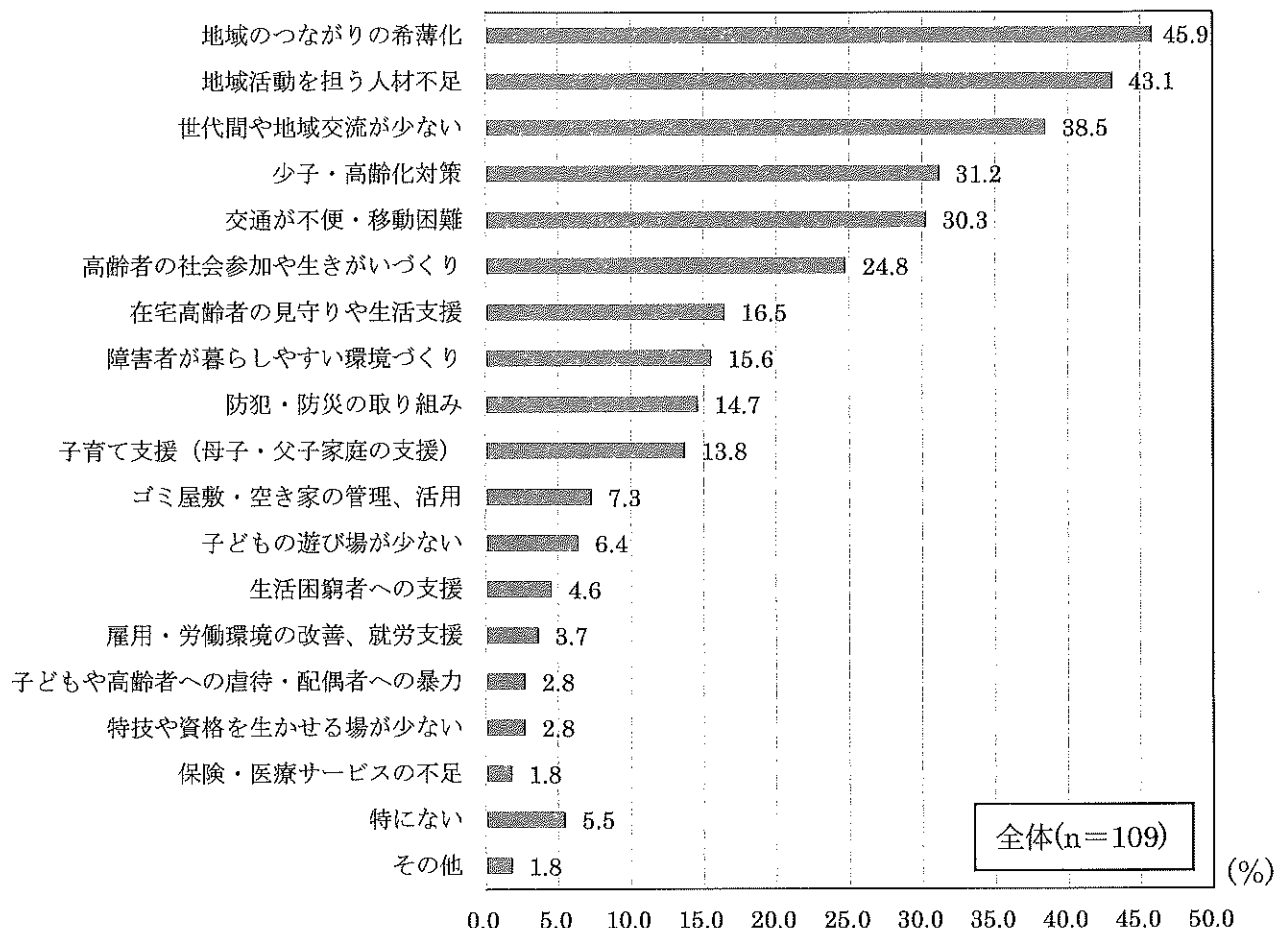
■地域（団体）・組織の活動、運営について（地域のつながり作り等含）	
活動の見える化。	高齢
視覚障害者との交流会を開催し交流の機会を作ることで「ガイドヘルプボランティア」にも興味を持ってもらう。	ボランティア
ボランティア活動なので、あまり活動を強制できないので動ける人が細々と活動を続けていけたらと思っています。	ボランティア
会員の高齢化に伴い、会員数も激減。役員のなり手も減り、活動の企画運営が困難。当会は障害者親の会なのですが、当事者の活動には保護者もしくは介助者が必要となり、運営しながらの介助は困難なため、障害者が集える企画運営を提供していただきたいです。	当事者団体
近隣の市の同じ団体との連携、合同活動。	当事者団体
本来は社協のボランティアセンターが率先して互助の在り方を推進していくべきだと思っていますが、ボランティアセンターサポーター会議もとん挫したままになっている。今回の地域福祉計画の中にサポーター会議を復活させるべきだ。	ボランティア
戦後 78 年も過ぎ当時を知る人たちが減って、第 3 世代に入り戦争が現在も各地で起こっているが、わが身のごとく考えて再度各家庭でも話し合いの場を多くと学校でもみんなで話し合える機会を！	当事者団体
集いに来られなくなった方へのフォローアップは大切だと思う。	当事者団体
大好きな花苗を育てています。これからも花好きな仲間と楽しい毎日を過ごせたらと願っています。そんなとき社協のみなさんにアドバイスや助言をいただけたらと思います。	高齢
広報活動を強化する。	障害
一般市民の方の消防団活動に対する理解と、理解していただくように改革していく行政と消防団活動。	防災
若い方たちが興味を持ってくれるようなセミナーや自分の家業なり仕事なりの発信ができるような機会を作ることです。	その他
年間計画を会員全員に通知して、その中の一つでも参加してみようと訴えかける。参加しない人には、どんな活動なら参加するかを聞く。	高齢
活動を DVD に収録して施設へ届ける。	ボランティア
市内の各企業（工業団地含む）飲食店、商工会と連携し会員が受けることができるメリットを増やしたい。	防災
各単位クラブだけでなく、各地の単位クラブとの共同で行う事業で活性化を図る。各単位クラブの会費で今現在持っている趣味の活動で同じ趣味の方（他の単位クラブ）と一緒に活動をする。	高齢
魅力ある組織づくり、若い会員さんの意見を取り入れる。	その他

活動のマンネリ化があるので、新しい発想で「健康促進」「生きがい探し」などを目標にして活動内容を考える。	高齢
子ども会と連携した活動に力を注ぐ。	高齢
区長会、婦人会はシニアクラブ主催のグランドゴルフ、ニュースポーツ大会において理解、協力、参加を各地域内でもっとアピールを行い盛り上げてもらいたい。	高齢
若人方の会員が少ないので、料理教室など参加を進めていきます。	子育て
■人材・担い手について（役員の負担・少子高齢化等含）	
委員の年齢が国県の 75 歳定年が守りにくくなっている。他市では守られているところも多くある。	福祉従事者
新しく介護支援専門員として働く人がいない。	高齢
当クラブは、会員の減少、高齢化、新規メンバーの加入が少ないため、現行の活動も難しく取り組みや活動、施策などのアイデアを考える余裕はない。	高齢
会員減少の最もたる原因は、新規会員が望めず高齢化により体力の限界でなくなることである。また、入会してどんなメリットがあるのか、そして集団組織の煩わしさ、お世話する役員にはなりたくない等個人同士の仲間で楽しみたい意識の変化がある。	高齢
改革委員会を立ち上げ取り組んでいるが、これと言った良い対策が見出されていないのが現状であるが、今後も続けていく方針。	高齢
少子化に伴う役員選出のあり方を考えるべき。現在の地域割りの一部合併、小中一貫の前に行う事。	子育て
地域で貢献できる素晴らしさ、団体の魅力を継続的に伝え人員確保していきたい。	防災
具体的ではないが、根本的に 20 代、30 代の人々が市外に流出している。市として他市と比較してのメリットを抽出、発信し定住させていただきたい。	防災
新しい会員を募る努力をする。	高齢
グランドゴルフ以外の新しいスポーツ活動に参加したい。	高齢
本人がシニアクラブ会員だと、意識していないしまた、入会したくない人が多い。高齢者を動かすことは極めて難しく困っている。具体的な良いアイデアが浮かばない。	高齢
団体の会員が高齢化しているため若手の会員の入会を増やし、活性化を図りたい。	子育て
ボランティアに気軽に参加できる環境、風土を作る。	福祉従事者
■拠点・施設・環境について	
社協や市役所の会議室利用を無料にして欲しい。	高齢
とどろき荘利用は無料にしてください。	ボランティア
地域の皆さんと歩いて行ける場所でおしゃべりしたり、お茶したり、楽しい仲間づくりができればいいと思います。	高齢
■情報について	
イベントの案内や活動内容の紹介は紙媒体では目にする人が限られる。ネット配信や SNS などを積極的に効果的に、かつ要約できればと思う。	ボランティア

個人情報分からないので会の PR 入会を促す情報を必要な人に届けられない。広報だけでは伝えられない。	当事者団体
活発に活動されているところのアイデアがほしい。	高齢
■生活支援について（福祉サービス等含）	
もっと利用しやすいデマンドタクシーの制度設計をお願いしたい。	ボランティア
■財政面について	
人材を集めるだけの魅力を社会福祉法人が持つためには、職員給与のベースアップが必要だと思うが報酬上限に限界があり、職員給与にまで反映していないところがあるので、基本報酬の見直し等の抜本的な改善を行政に対して要求していき実現してほしい。	福祉従事者
シニアの世界には裕福な老人や様々な人が居ます。シニアクラブに入ると役があたり、何も無償なので不満がでます。キロに応じて最低ガソリン代くらいは出すべきでないでしょうか？	高齢
資金調達について、助成金だけに頼らない活動を続けるために収穫したお米を販売するなどの方法を考えています。	ボランティア
■その他	
その団体の中の人ではなく、第三者が好評価、アピールしてくれることで、注目や関心が高まるのではないか。	高齢
ボランティアポイントの導入。	福祉従事者
精神保健福祉のボランティア養成講座を修了したボランティアに参加していただいている為、再度、養成講座の開催を希望します。	ボランティア
当会の活動を PR していただくと共に、依頼を受ける窓口を社協でお願いしたい。	ボランティア

問4 団体活動を通じて感じている地域の課題は何ですか。【複数回答可】

「地域のつながりの希薄化」が(45.9%)と最も高く、次いで、「地域活動を担う人材不足」(43.1%)、「世代間や地域交流が少ない」(38.5%)の順となっています。



■その他

- ・資格保有者の確保。
- ・不登校、ヤングケアラー等の子どもたちに対する支援。

■選択項目の補足意見

- ・介護職や介護支援専門員への人材確保支援。
- ・シニアクラブの会長のような方が地域にたくさんおられたら、よい町になると思います。
- ・認知症サポーターの方のその後の活躍、活動の場がどうなってるのが見えない。
- ・何かをしようとしても移動の課題がある。

問5 問4の課題解決に対して、必要だと思う取り組みや活動・施策など、具体的なアイデアはありますか。

■地域（団体）・組織の活動、運営について（地域のつながり作り等含）	
これから社会資源がどんどん厳しくなる中で、市民の健康づくりや健康寿命を延ばす意識の底上げのための活動。	高齢
障害者から困っていることを聞かせてもらい、建物などのハード面だけでなく、人の対応などソフト面を図る。	ボランティア
地域での情報を得るために、人脈を広げていければと思います。	ボランティア
委員個々が行政とのパイプ役と再認識が必要。民生委員として対応が必要。	福祉従事者
福田のアイデンティティを取り戻すには、やはり平池公園まつりが必要と思う。福田小学校もなくなりますし、地域の誇りを各自植え付けるには1つにまとまる行事が必要だと思います。福田9カ村のうち3カ村で老人会がなくなり、危機的な状況です。社町でやっていた運動会も村がまとまる大きな要因でした。	高齢
こういう活動をしていると、興味のある人や、すでに何かを行っている人と知り合うことも多い。そして偶然課題が解決することもあるし、自助で解決できることも少なからずある気がする。ただそのためには社協のボランティア団体の会議や福祉まつりに参加することや、自分はこんな活動をしているよと上手にアピールすることが肝心だと思っている。	ボランティア
横の連携がないので、2つの集落で行う事業を考える必要がある、その輪を大きくする。	ボランティア
子どものころから地域の行事に参加するとか、ボランティアをするとか、人のためにすることの楽しさを教える。	当事者団体
昔と違って現在は「地域とつながりが希薄化」しているように感じる。特に加東市が合併し、市が大きくなることにより全住民が一堂に会して集いコミュニケーションをはかれる場が無くなった気がする。以前の旧滝野町時代はたくさんの事業があり「出会い・ふれ合い・語り合い」の言葉通り楽しい時代であった。また、地区内においても老人会、子供会、消防団、地区住民との「ふれ合いの場」があり情報交換が出来ていたように思うのと同時に自治会長（リーダー）によって相当の温度差があるように感じる。	高齢
色々なグループ（例えばシニアと子供会）が会合をもち、お互いにできること、して欲しいことについて話し合い地域の活性化につなげる。（高齢者の生きがいづくりにもつながる）	高齢
各単位クラブでは、地域交流が進むような活動を取り入れる。	高齢
今までの活動を続ける（途切れないように）取り組みを考える。	その他
企画、運営はもちろんですが参加することが、ボランティアであるとの意識を広めることも必要なのでは。	ボランティア
地域の各種団体（自治会、老人会、子供会、高齢者施設など）にボランティア活動団体と活動実績を広報を利用してPRする。	ボランティア
各サークル活動の具体的な出演場所（依頼される団体を含めて）を互いに共有し合うのも良いかと思う。	ボランティア

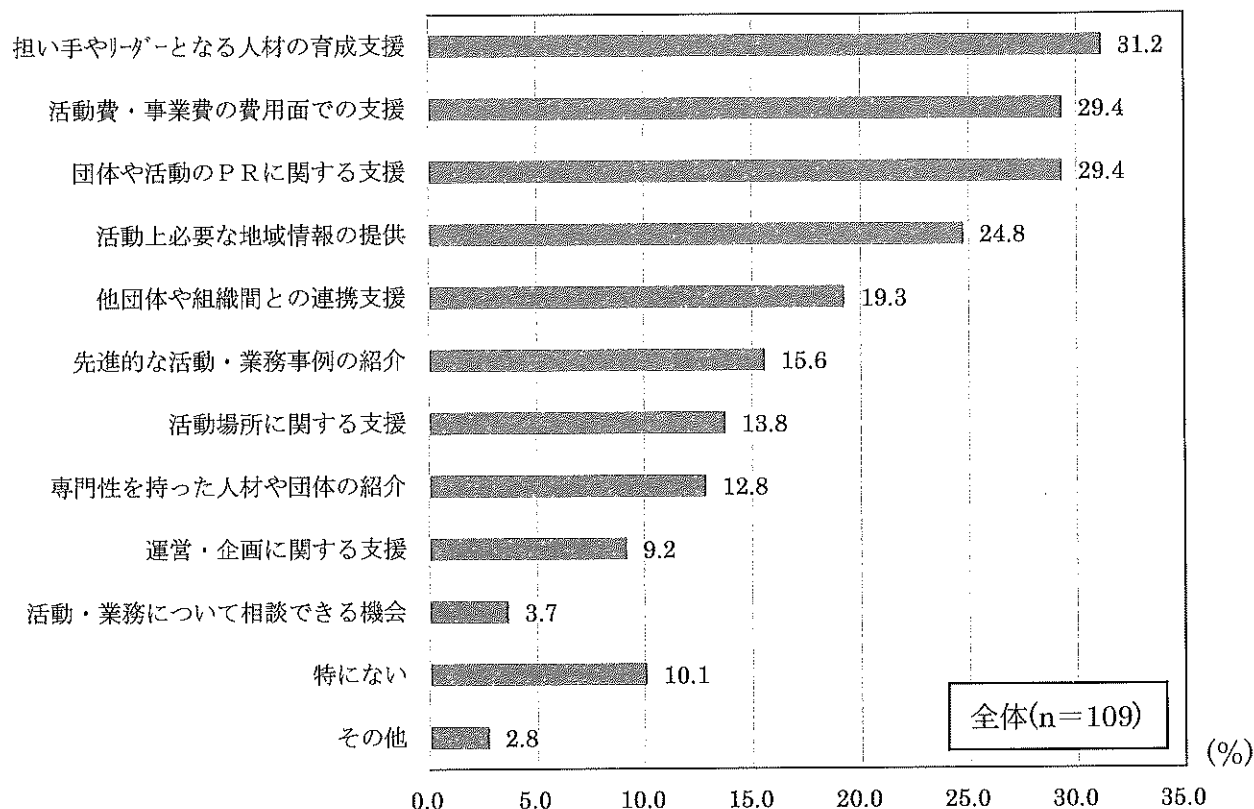
■人材・担い手について（役員の負担・少子高齢化等含）	
大きな地区は人材がいますが、小さい地区は人材がいないため何年も地区の役員をしないと回らないためしんどいです。	防災
農家の市営化調整区域を外してもらい、新しい人に入ってきて家を建てて人口を増やしていかないと小さな地区は限界集落になってしまいます。	防災
当会として障害児・者家族と交流、活動の場を提供できればと思いますが、人員不足で一步踏み出せない。	障害
人口の減少が大きな痛手ではなかろうか。日本を支えるのは日本国民なのだから、人口が減ることは困ったことだ。	当事者
世話焼きの人地域に数人登録制にされてはどうか。	高齢
特技や資格のある人も登録制にして、必要な時に願います。	高齢
少子高齢化、家族形態の変化、人間関係の複雑化。	子育て
■拠点・施設・環境について	
不登校特例校など子どもたちが学べる場所や居場所を増やす。	福祉従事者
気軽に交流できる場の提供。	障害
多世代交流の場を設ける。	若者
■情報について	
市の広報紙や社協の広報紙で地域で暮らす障害者の様子当事者の思いインタビューなどの取り組みにより、一般市民に障害者のおかれている状況をよく知ってもらい暮らしやすい市を作るために何が必要かを考えてもらう。	ボランティア
障害者の短期入所、長期入所施設やグループホームのニーズを行政、市民にもっと周知させる必要があると感じています。	障害
市の広報誌で、シニアクラブの活動に参加するよう呼びかけをしてもらう。	高齢
会員の入会案内をする時に、PRのチラシを作成したり、SNSで発信してみるのも考えてみては。	障害
■生活支援について（福祉サービス等含）	
これから始まるデマンド型タクシーなど、移動支援の充実。利用者にとってもサービス提供側にとってもよりよい内容になるべく、実証実験の参画に市内全体で取り組むべき。	高齢
今は自家用車で移動ができていますので、私自身、不便は感じていませんが、車の運転ができない人に集いの案内がしづらいです。社協の大型車を借りてサークルメンバーが運転手となって集いの参加者送迎を行ったことがあります。	ボランティア
小野市社協では運転手付きでマイクロバスを手配できると聞きました。サークルメンバーが運転手を担わなくて良いので、活用しやすいなと思いました。	ボランティア
団体での移動手段に民営バスを利用できる予算はなく、市のバスを利用できるようになると活動の幅も広がる。	障害
交通の不便に関しては、他の自治体の状況をみると自動化を図り人材不足の対策を立てているところもあるので加東市も参考にできないものかと思う。	福祉従事者

デマンド交通の拡充を希望します。サービス内容は、自由経路ドアツードア型が、高齢者の移動に必要と考えます。	防災
病児保育の利用のしやすさ。料金や予約の方法等の見直し。	福祉従事者
■その他	
地域包括ケアシステムの充実、各種取組の行政依存から民間との協働への移行。重層的支援体制の充実。	高齢
現在我々が行っている生活支援サービスを行政、社協や行政は率先して行うべきだ。	ボランティア
行政の対応の遅さ、特に問題提起に対して対応が遅すぎる。	子育て
自分一人では生きていけない。地域、公助の助けがあってこそ生きていけるという事を教育として伝えていく必要があると思う。	防災
市や社協の職員がボランティアと親しく言葉を掛け合い、ニーズを把握し提案していくことに意識改革して欲しいです。親しくとは、馴れ合うことではありません。	ボランティア
最近の若者夫婦は、簡単に結婚して簡単な理由で別れる。お互い我慢してだんだん理解して夫婦を作っていく教育は必要では。	高齢
ボランティアに頼るだけでは難しいと思う。	ボランティア
社協がボランティアグループを地域や施設やその他の団体の要望や希望をうまく深く関係を取りまとめてほしい。	ボランティア

問6 行政（加東市）や社協（加東市社会福祉協議会）に求めることは何ですか。

【複数回答可】

「担い手やリーダーとなる人材の育成支援」が(31.2%)と最も高く、次いで、「活動費・事業費の費用面での支援」「団体や活動のPRに関する支援」(29.4%)で同率の順となっています。



■その他

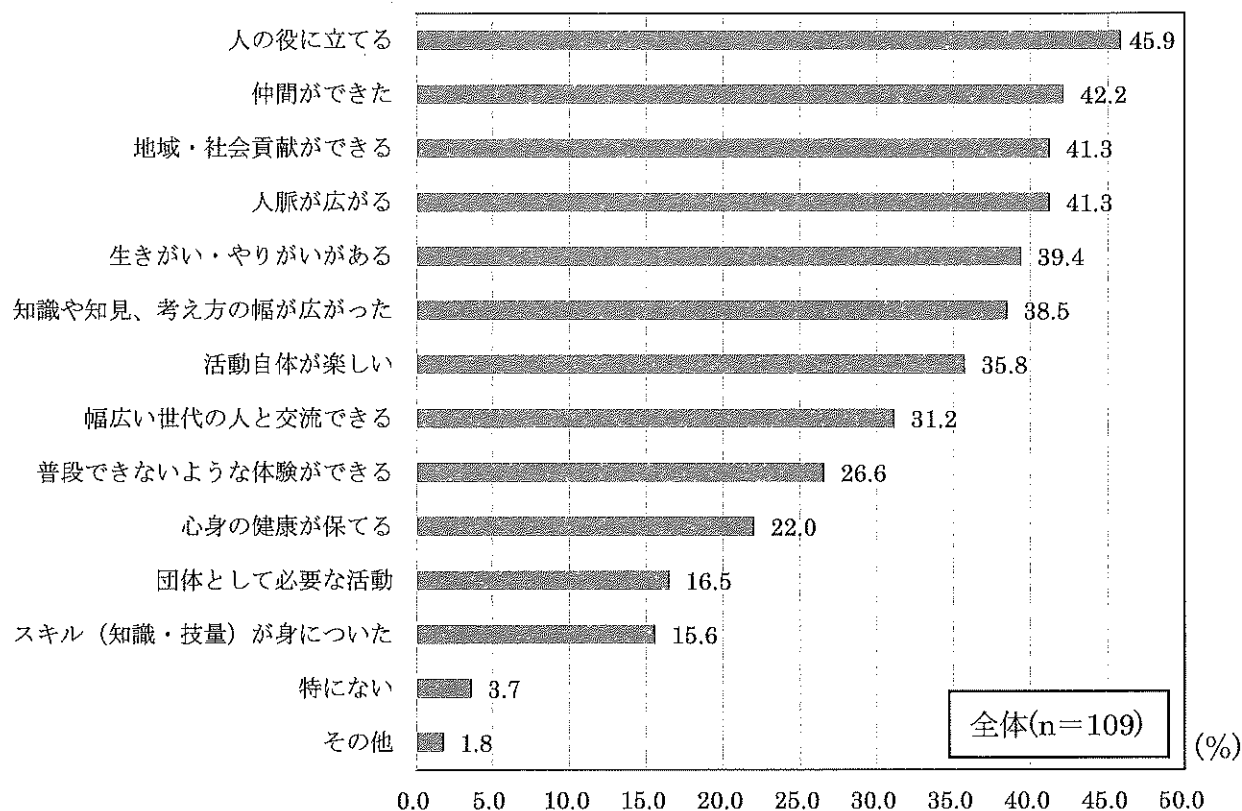
- ・いつも遅い時間までお仕事頑張ってください。仕事が忙しくてつらい日もあるでしょうに笑顔で接してください。私自身感謝の気持ちを持ち続け生活したいと思っています。
- ・高齢、障害、福祉に関する研修をしようと思っても、高名な先生は費用的にお招きできないので、困ったときのアドバイスを、協力してくれたり、セミナーを低価格でしてもらいたい…。
- ・シニアクラブ会員が喜ぶような活動紹介。

■選択項目の補足意見

- ・今のところ自分たちのできる範囲のことをやろうとしているし、やっている。社協にボランティア登録していることで我々団体の信用を得ることが出来たこともある。社協はありがたい存在だと感じているし、力強い存在だと思っている。
- ・職員給与のための定常的な付与の検討をして欲しい。また、人材確保のために何らかの手立て、施策を講じてほしい。
- ・色々な値上げがされるなか、報酬体制が変わらない。時代に応じて変化してほしい。
- ・ボランティアグループに登録し助成金をいただけるようになったので助かっています。
- ・行政等の手の届かないところが多くある。ボランティア育成にもっと力をいれるべきである。個々の団体が目標達成で喜んでいる。
- ・私たち団体には大変よくしてもらっているので、何も求めることはありません。
- ・毎回の市民へのアンケートで外出支援を希望している比率が高いにもかかわらず、具体的な支援が実行されていない。
- ・問題に対してスピーディーに、また他人事とは思わず親身に対応する事。
- ・活動場所など充分に提供いただいています。ありがとうございます。

問7 活動をしていて良いことは何ですか。【複数回答可】

「人の役に立てる」が(45.9%)と最も高く、次いで、「仲間ができた」(42.2%)、「地域・社会貢献ができる」・「人脈が広がる」(41.3%)で同率の順となっています。



■その他

- ・高齢者、障害者、児童福祉の社会福祉の社会福祉法人の横のつながりができたと感じる。
- ・若い世代のお母さんたちへ、自分の子育て経験から得たことや感じたことを伝えたり、お母さん向けの絵本を通じてメッセージやエールを送ることができるのがうれしいです。お母さんたちの話をしっかり聞いてくれたり、笑ったりホッとした表情を見せてくれるとやりがいを感じます。読み聞かせのあと、絵本についての質問や感想を伝えてくれる人もいて、個人的にお話できるのも楽しいです。

問 8 貴団体として、新たに取り組みたいことは何ですか。

■地域（団体）・組織の活動、運営について（地域のつながり作り等含）	
他団体と協働して元気な人も障害のある人も外国人の人もみんなで楽しく参加できるウォーキング大会や地域活性化特産品アピールみたいなイベントがしたい。	高齢
農家でお米を作っていますので、余ったお米を子ども食堂に提供しています。	防災
障害児・者家族が気軽に参加できる〇〇教室等（書道・絵画・音楽など）。	障害
福祉まつりへの参加。	障害
子どもたちの特技を活かしたショップ。	障害
コロナ禍までは2カ月に1回森カフェを実施してお茶をしたり、ミニ盆栽づくりを2時間程度行っていたが、現在は中止したままでなんとか復活できればと思っている。	高齢者
新たな学習支援。	福祉従事者
102歳の親を送った方がその後ぷつぷつと集いに来られなくなった。元気なのだろうかと心配することがある。元気におられることが分かったらホッとするのだが。福祉は奥が深く、道は細い。	当事者
まず私たちが中心になって他の人たちに呼びかけて一緒にニュースポーツをやって障害者の理解のためにも交流を深めていきたい。	障害
加東市外への進出。	ボランティア
色々な発信をAIを駆使して行う。若い方のやり方に賛同して、事業を行う。	その他
過日、北播磨老連協議会の役員会で「社会福祉協議会との関連性」を議題として議論を重ねる機会があり、5市1町の内多可町と加東市のみが社協が事務局にお世話になっており他市町は自らの団体で会計は勿論のこと、全般に於いて独立して活動をしている。このような現状を考えると、社協にお世話になるのが大変ありがたいことですが、他市町の話を知っていると独立して事業を推進する時期がきているものと感じた。 しかし、独立するためには事務局、費用その他諸々の課題があり、当シニア連としては現状がベストであるが、今後は社協とご相談のうえで検討する必要があると考えます。参考として三木市老連は運営費用を市からの補助金で賄っているとのこと。また、当シニア連の事務局は会議・大会・研修会・その他の事業に参加できない内容になっており他市町に迷惑をかけているのも事実である。（多可町は出席している）	高齢
グランドゴルフもいいが、モルックも大人から子どもまで一緒に楽しめるスポーツなので、行政なども推進してほしい。	高齢
現状維持の活動も難しく、新たな取り組みは考えられない。	高齢
■人材・担い手について（役員の負担・少子高齢化等含）	
女性消防団員の確保。	防災
■情報について	
団体内に目的別に、ワーキンググループをつくり、より活発な活動計画作成やSNSを活用して、市内外に取り組む内容の情報発信を行っていく。	防災

■その他	
視覚障害者のガイドヘルプ講習会。	ボランティア
地域の障害を持った人たちの当事者同士のトークショー。	ボランティア
一般の人の障害者に対する偏見の改善 PR。	障害
全市民対象のボランティアポイント制を導入し、ボランティア人口比率日本一を目指す活動。	ボランティア
以前両親が持っていた老人会員証を作って買い物などで少し値引きできるとかそんな制度が加東市にあると良いです。	高齢
難しいことだと思うが、社会福祉の制度では補いきれない狭間の人たちを助けられるような施策を行政とも協力して実施していかないといけないと感じる。	ボランティア
高齢者が安心して住める、地域共生社会づくり試案がある。社協の強い支援がなければ前に進めない。	ボランティア
新たにではなく、今まで以上に児童・生徒の声を聞き PTA 役員であり一人の子の親として上に対して報告・連絡・相談をもとに結果をだしたいと思っています。	子育て

問9 地域福祉の推進について、必要だと思うこと、ご意見ご要望等、ご自由にお書きください。

■地域（団体）・組織の活動、運営について（地域のつながり作り等含）	
高齢者、障害がある方に活動を控えて頂くのではなく、自分たちの活動を細分化し誰でも参加できる団体にしたいです。	防災
地域の子供達との交流機会が増やせたら良いと思う。	高齢
ニュースポーツを通じて、障害者仲間の相互理解や活動を活発にしたい。	障害
他の団体の交流や意見交換会。	障害
幅広い演芸に挑戦したい。	ボランティア
シニアクラブ以外の誰でも参加できる（イベント・スポーツ）等を企画する。	高齢
何を読むかは決まっていますが、デイジー図書を作成したい。	ボランティア
グランドゴルフ、ニュースポーツを3世代でまずは各地域で取り組みたいと考えています。	高齢
フードドライブは協力していますが、とても良い事だと思っています。 加東市には外国人も多いので外国人と婦人会の交流ができれば良いと思います。	子育て
要約筆記者が中心となって立ち上げたサークルです。文字による情報保障や支援を必要としている人や団体があればお役立ちできればと思っています。高齢者や難聴者だけではなく、聴覚情報処理や発達特性のある方、外国人の方などにも文字による支援が役立つケースもあると思っています。	ボランティア
役員になると人前で話すことが多々ありやっぱり得意でない者にとっては辛いです。シニアクラブも各分野に得意な人を配置し、無理なくのんびりそんな風にならなれば良いと思います。行事に追われています。会員さんが増えて楽しくおしゃべりしたり、ゆったりとした時間を過ごすそんなシニアクラブになって欲しいです。	高齢
期限を付与したプロジェクトの実施。	障害
高齢者の望みはいつでも気軽にどこでも交流ができるそのような地域社会である と考えるので、それに対するボランティア活動が行われるため、もっと積極的な活動支援が必要である。	ボランティア
子育て世帯などへの参加イベントの提案や啓もう活動など。	防災
困った時には「助けて、手伝って」と言える地域づくり。	その他
自身が使える時間内での協力ができる場所を知る。	その他
秋フェスでは、お雛様の着物を子ども、高齢者、外国の方に着付けさせていただきます。	その他
誰もがが生活の中で、その人に応じた時間を使ってボランティア活動をするのが、 当たり前となっている社会が実現すれば今より少しは地域福祉が進むと思う。	高齢
■人材・担い手について（役員の負担・少子高齢化等含）	
若い世代へどう引き継いでいくかが、我々のグループに限らず全体的な課題だと思います。定年後の新たな活動の場として選択肢の一つになればいいなと思います。	ボランティア

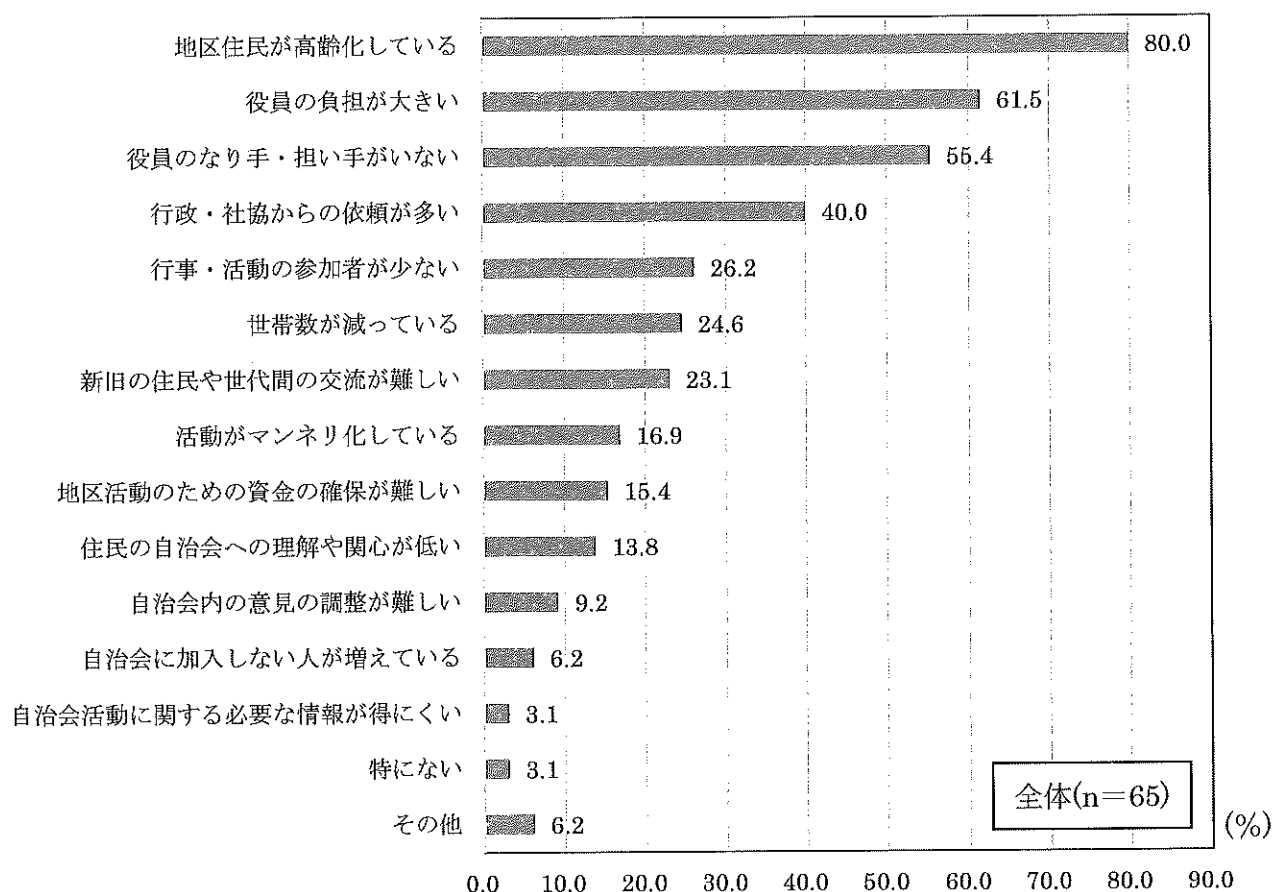
■情報について	
地域住民に各種ボランティア団体の紹介を積極的にしてはどうかと思う。「夏祭りで余興にマジックを入れたいが」など、どこに相談すればよいかわかるような冊子を発行してはどうか。	ボランティア
■生活支援について（福祉サービス等含）	
高齢者の1人世帯が増加傾向にあり、自動車を運転できない・自転車に乗れない人が増加していくため、『伝タク』の運行ルートを検討してほしい。	高齢
■財政面について	
社協に参加しているのですが、今の時代交通費も出ない所があり、1時間500円（私は目的があって参加しているのでいいのですが）新しい参加者に対し、参加しやすい協力者がたくさん増えることをどうすれば良いか考えさせられます。	子育て
■その他	
生きづらさを抱えた人が孤立しないように、公的な機関や住民が互いに支えることが普通にできる地域になってほしい。	ボランティア
親に支えれ育ち、自分が親になり子や親や地域を支える側になる。そして、また地域や子に支えられる立場になっていく。このサイクルが変わることがないので、楽しく共存できる考え方をもって生きれる「環境づくり」が大事だと思います。	防災
加東市社協が他市と比較して地域づくりに果たす役割が小さいと感じています。電話をして確認しようとしても担当者に回されて担当者もこちらが言っていることがちゃんと伝わっていないと感じるが、それを上司に相談して答えを出すと言う一般的な仕組みがないと感じます。地域づくりにおいて、周囲が何を社協に求めているのか、今どんな風に思っているのかを話す機会を持った方がいいと思います。本当に加東市住民の方々の不利益になっていると思います。	高齢
社協が社協としての機能を果たすこと。	高齢
福祉の拠点として居宅介護支援事業所の再開。デイサービスの充実。	高齢
地域のボランティア活動の充実。ファミサポの充実。	高齢
社協がここ数年訪問入浴、居宅の事業が停止したり、職員の退職も耳にします。社協の働きやすさを匿名でアンケートなどを取り、働きやすさの向上につながらないか（他の方法でもよいので）やってみていただけないかと考えます。	高齢
平日は仕事を持っているメンバーがほとんどなので、会議や催しにはほとんど参加できず申し訳ないのですが、その旨を理解していただけるとありがたいです。	ボランティア
人と人との助け合いで車に乗れない人を助けて買い物難民をなくすことや病院に連れて行く人材を作ること。	防災
民生委員として何ができるか初心にかえる必要大。	福祉従事者
互助が必要となってくることをもっと市民に知らしめる活動を求める。地域福祉に向けた市民全員参加の地域ボランティアポイント制度の導入の確立は有効だと判断する。	ボランティア
福祉の担当者も自分が痛手を負ってみないと分からないことがある。痛手を負うことを恐れないで勇気をもって進んで欲しい。	当事者
いろいろなサービスやボランティアによる活動や支援を知らない人も多いなと感じます。特に必要がない方は全く興味がないように思います。	ボランティア

福祉関係については、全くの素人であり少しでも勉強したい気持ちはあるが、日常の忙しさにかまけて怠っているのが現状です。 「福祉」について調べてみますと「心身の障害などによって、日常生活に支障のある方やその家族を対象に身体、精神、経済などあらゆる角度から助言や指導すること」のようです。 このような観点から「社会福祉協議会」の業務は、奥深く且つ広範囲にわたって地域福祉の最前線に立って活動されている姿に頭が下がる思いです。そして、現在我々は生かされていますが、誰しもいずれは体力が衰え、社協のお世話になる日が確実にやってきます。そのためにも、個人・家族でお世話するよりも社会全体でお世話する地域福祉が是非とも必要であると考えます、 また、福祉関係の業務は大変重労働ですので今以上に待遇を改善されてはいかがでしょうか。	高齢
私たちのグループは、だんだんと高齢者が多くなり健康を害して休む人も出てきました。そのような訳で難しい事は考えられません。	高齢
これからの地域福祉、時代の流れに合ったやり方で、またボランティア精神をもって対応したい。	子育て
シニアクラブ女性部としてお手伝いできることがあれば提案下さい。	その他
先進地の紹介や研修。	障害
地域福祉の推進に貢献することは、良いことだと思うけど実際高齢者を動かすことは難しく、結局本人たちが楽しく遊べることしか参加しないと思う。小さな地域の活動だけでも参加者が少ないのに、市単位で活動は役員クラスが参加している状態だと思う。それではあまり意味がないが、それも仕方のないことかもしれない。	高齢
個人的にすることが増え、みんなでする楽しみが薄れていっている様に思います。	高齢

● 区長・自治会長

問 1 地区・自治会運営の困りごとは何ですか。【複数回答可】

「地区住民が高齢化している」が(80.0%)と最も高く、次いで、「役員の負担が大きい」(61.5%)、「役員のなり手・担い手がない」(55.4%)の順となっています。



■ その他

- ・ 多国籍の人が入区され、言葉の障害がある。
- ・ 外国人入居者が増えて、言語の違いの問題。
- ・ 独居高齢者が増加している。
- ・ 半強制的と思える寄付が多く、寄付に高額が支出される。

■ 選択項目の補足意見

- ・ 高齢者の地区行事への参加が少ない。
- ・ 20年以上前に子ども会がなくなった。役員への負担が多かったようだ。地区と子どもたちの関りは、年2回の行事くらいしかなくなってしまった。
- ・ 自治会運営に対する価値観の相違がある。(一人の人)
- ・ 世帯数75件の内、75歳以下のシングルマザー35件、75歳以上の独居の女性13件、ベトナム人世帯14件、まとめようがない。
- ・ 地区有財産の維持管理。特にグラウンドの管理費が多い。

- ・協議費について
- ・子どもの人数が少なく、行事が難しい。
- ・役員選出に行き詰っています。輪番制ではなく、区長が推薦し決まります。困難です。
- ・女性の会員が増えていくのは良いことだと思うのですが、池などの草刈りや作業に支障が出てきている。
- ・区長職今年一年目ですが、覚悟はしていたとはいえ、行政関係はもちろんですが、ありとあらゆる方面の窓口がすべて区長になっています。加えて、自治会によりますが、私の地区のように農地面積が多く、かつ水当番制度を用いている村では、特に、6～9月の農繁期では、用水路、水利に関して非常に多忙となります（区長の管理責任が問われます）こうした中で、農業関係以外の様々な行事、イベントをはじめ、地区の運営をしていかなければなりません。
- ・外国人が増加し、ゴミ出しルールが守れない。
- ・4について：高齢化は致し方ないが、高齢者のみの世帯が増えている。
- ・当地区は農業に関する行事がかなりの部分を占めているので、特に高齢化と担い手不足が困る。
- ・役員のなり手が減っている。
- ・仕事をしながら役員をする世代なので、忙しくて休む間がない。
- ・特定の人しか行事に参加しない。
- ・アパートが多く定住者が少ない。
- ・高齢者のみの家が増加している。
- ・仕事を持つ高齢者も多く、行政の行事等に参加できる人が少ない。
- ・特に農業の担い手不足。
- ・PTA や老人会に限らず、活動に対する理解や認識があまりないと感じる。
- ・今後急激に空家が増加しそうである。
- ・高齢化により、地区の環境保全作業が重荷になってきている。

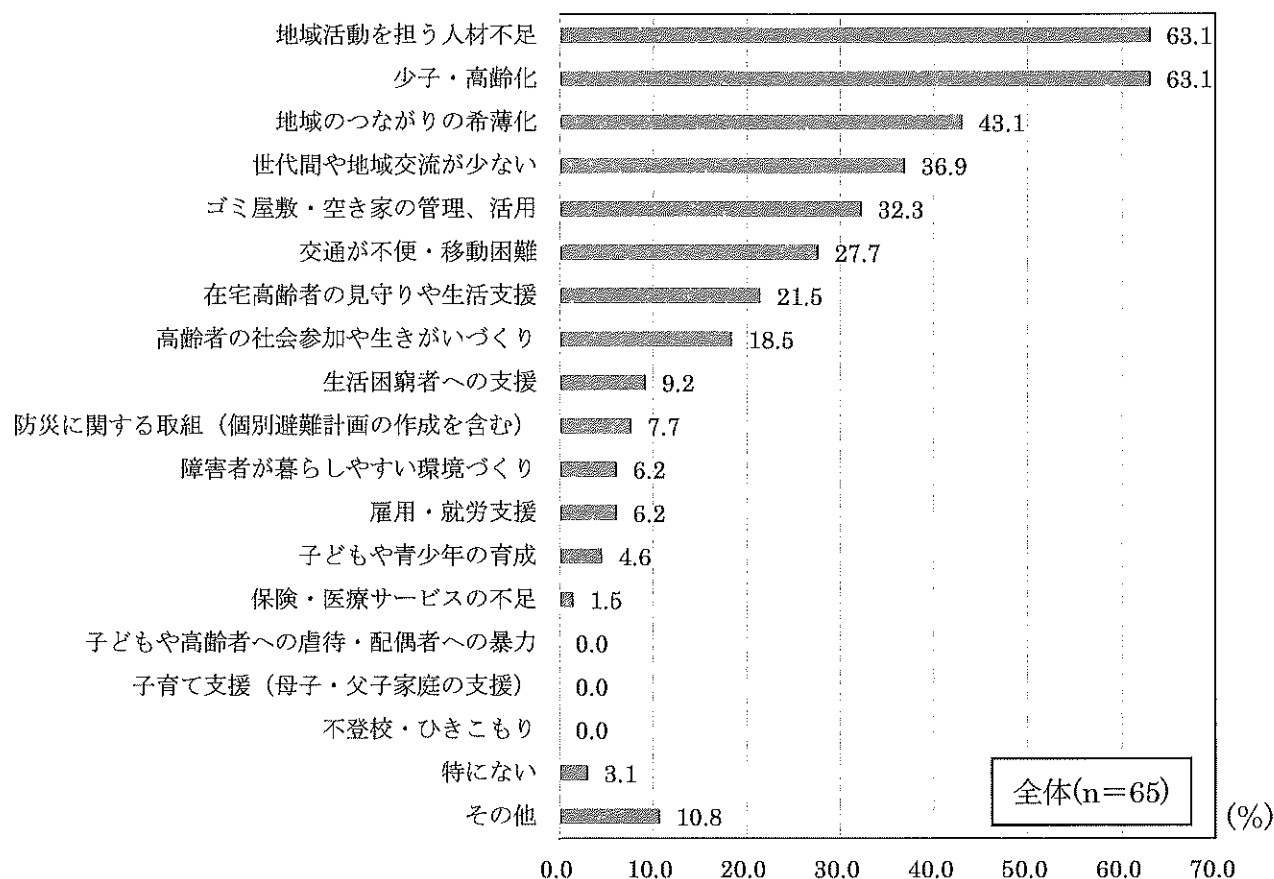
問2 問1の困りごとに対して、必要だと思う取組や活動・施策、また地区・自治会で実際に行った工夫や具体的なアイデアはありますか。（自由記述）

■地域（団体）・組織の活動、運営について（地域のつながり作り等含）
会合等でも意見の調整、とりまとめができない。
当地区は57軒あり、総人口は175人です。その内空き家は5件、高齢者のひとり暮らしが4件の状態となっております。また、75歳以上の住民は43名おられます。
小さな地区にもかかわらず、住民各人の様子が見えない。行事への参加も減り、何か楽しいイベントで交流できないかと考えている。
昨年までのコロナ禍で、地区の伝統的行事を大幅に内容の簡素化を図ったが、復活しようとは思わない。
地区行事等の見直しを進めている。なくすものはなくし、経費削減に努め、一方で守っていくべき伝統文化はしっかり守っていく。
・高齢化対策として、地域を支える活動を担っていきたい。啓発したい。 ・地域課題を克服するため、「世代を超えた話し合い」を年3回開催した。その結果、若者・女性・高齢者が主体的に話し合い、3つの事業を展開でき活力あるイベントができた。（①花見まつり—1週間ライトアップの花見を楽しむことができた。②夏祭り—若者女性を中心として7/23宵まつりとして実施できた。③餅つき会—女性高齢者が中心になり、村民の主体的事業ができた）
印象として、過去の子供会役員、現在のPTA役員共に構成員に対して「負担が減ったよ」というアピールを最も重要視しているように見受けられる。三世代交流の中止の提言やラジオ体操を中止したこと。今年はPTAではなく地区と老人会でラジオ体操を実施したい。
高齢化していく地区が、気軽に参加できる取り組みが必要。
地区の祭り（ひろのが丘祭り）を開催し、自治会員及び三世代の交流・親睦を図った。また、同じ趣味を有する人たちが集まる地区同好会を作り、交流を図っている。
■人材・担い手について（役員の負担・少子高齢化等含）
地区内で若手が減っているため、役員などのなり手がない。
役員のなり手がいない。勤めながらも役員がしやすいように行政等とのやりとりを減らすことが必要。
住民の高齢化について。高齢者のみの世帯（夫婦とも〇〇歳以上）について、隣保長や出役の免除が必要かも。（明文化）現在は、暗黙の了解となっているが、人によっては無理をしているところもある。
加東市から区長へボトムダウンが多くて、区長のなり手がいません。もう少しゆっくりと区長が動けるようにしてください。
現在女性委員が役員の中にいないので、なんとかこの一・二年の間に女性部を作って、活動の活性化をはかりたい。
福祉活動、行政からの依頼ごとでの人員確保（特にボランティアの場合）が大変。
働きながら役員をしている方が多いので、会議・イベントは土曜日・日曜日に開催してほしい。
区長等役員の低年齢化が問題となっている。62歳は年金未支給で、まだまだ週40時間働かねばならず、負担分散を図る為区長3人制、事務員の雇用等を進めている。

問１の７に対する区長の負担が大きいと、可能な限り、副区長以下の役員にも業務を負担してもらう。
必要と考える組織はあるものの、役員がいくつもの組織の役員を兼務し、負担が大きいものとなっているため、地区内で行う行事は合同で行う。（一部の行事は取り組んでいる）
行政から地区役員への仕事を減らす。
特にアイデア等はありませんが、コミュニケーションを大切にして、少しずつでも若い役員を増やす工夫。
■拠点・施設・環境について
地元及び自宅からの通勤圏内に魅力的な企業が少ないことから、若者が転出、そのまま帰ってこないと考えられ、次世代の役員のなり手に不安を感じている。 魅力的な企業の誘致を希望します。
市街化調整区域（地縁者住宅）にあたるため、外部からの移住が難しい状況にある。市と相談し指定区域制度を進めようとしている。
若者が自由に家を建てることのできる農地施作。
嬉野エリア（社中周辺）の農地を特定指定地域に指定してもらい、一般住宅が建てられるようにし、若い子育て世帯が増えるように「まちづくりウォーク」で市長にお願いした。
■情報について
皆が参加できるチラシ・お知らせの工夫をしてきた。
毎月村のたよりを発行し、困りごとやお知らせ、報告や各種行事の風景等（写真）をお知らせしている。
多い回覧文書（配布）等、役所・社協の自己満足的なものを減らして、絶対必要な物以外は大胆にカット削減すべきと考える。
地域の実態や課題を共有するため、区長だよりを発行している。
■財政面について
必要な作業、残った作業を有償ボランティア（若い人で）を募集し、実施している。課題は資金で、今後補助金の拡大新設を希望します。
■その他
外国人との交流・ゴミ・交通安全・防災等の研修会への声掛け、パークゴルフ大会（２回）等を通して、交流を深め、ルール等を学んでもらう。（日本人も含め）
要望として、入居者の外国人の方には、もっと日本語を勉強して自治会活動をこなしてほしい。
翻訳機・翻訳紙の利用。（言葉の壁）

問3 区長・自治会長として感じている地域の課題は何ですか。【複数回答可】

「地域活動を担う人材不足」「少子・高齢化」(63.1%)が同率で最も高く、次いで、「地域のつながりの希薄化」(43.1%)、「世代間や地域交流が少ない」(36.9%)の順となっています。



■その他

- ・ゴミ問題が区長としての課題です。市役所も協力ください。
- ・ゴミの不法投棄。
- ・不法投棄が増加傾向にある。
- ・農業従事者担い手不足。
- ・高齢化のため、農地の管理ができない者が多い。
- ・地域の交流拠点がない。
- ・福田小閉校後のコミュニティ場所の確保。

■選択項目の補足意見

- ・シニアクラブの加入について（会員の減少、地区活動や子ども見守り隊への非協力的、花と緑の協会・花苗の管理返上）
- ・当村は、村内の道幅が非常に狭く、救急車はもちろん、介護事業所のワゴン車も通れない、または、ぎりぎりという道が多い。大きなワゴン車のミラーが家の塀に引っかかり、ミラーも塀も破損する事故も発生している。
- ・老人会の新規加入が減っている。
- ・避難所の社小学校の建物がなくなる。
- ・高齢者が高齢者を支援することが増えている。
- ・近い将来に向けて空き家の管理が必要。
- ・地区内に生活スタイルが異なる小地域が二つある。
- ・高齢者支援とプライバシーの確保。

問4 問3の困りごとに対して、必要だと思う取組や活動・施策、また地区・自治会で実際に行った工夫や具体的なアイデアはありますか。（自由記述）

■地域（団体）・組織の活動、運営について（地域のつながり作り等含）

今のところない。対策委員会を開いている。

今年度から4年ぶりに夏祭り（子ども会主催）・秋祭り（村・太鼓保存会主催）・霜月祭り（宮ノ當）・クリスマス会（村・老人会・子ども会・民生児童協力委員・人権啓発推進委員主催）、そして、5月より毎月一回のふれあいサロン（民生児童協力委員・村主催）を実施しています。しかしながら、この4年間に及ぶ新型コロナウイルス感染症と現在猛威を振るっているインフルエンザにより、80歳以上の方々や子どもたちの参加者が非常に少なく、来年度の課題であると思っています。

当地区は64軒ほどの小さい地区でまとまりがある。それを活かした在宅高齢者の見守り等ができれば地域で住み続けやすくなると思う。

各種団体代表者会を開催し、各団体の取り組みや課題の共通理解を図っている。

一人暮らしの高齢者が増えてきており、地区で見守るためには、緊急時にご近所に支援を求めることができる何らかの方法やシステムができればと思う。

65歳～75歳の自治会運営有償サポーター（オブザーバー）を自然体で組織化し、区長や自治会長と共に、地域活動を支援しても良いのではないかと考えています。※得意な分野で活動していただく。

三世代が揃って参加できる取り組みが必要。（グラウンドゴルフ大会及びその後の懇親会による交流実施）

高齢者が老人会などに参加しない。老人会の高齢化だ。世代間の地域の交流の希薄化などにみられる「常に対立の構図」で推し量ろうとする習慣をなくすには教育・研修しかないように思う。地域の交流拠点の不備も原因の一つだと思う。小学校区にひとつずつ地区公民館を設置する。

新しい自治会の設立と分離。

■人材・担い手について（役員の負担・少子高齢化等含）

区長が雑用係になっている。他のものにも頼めない。人間関係が難しくなっている。

青年団から消防団、消防団から太鼓保存会へと、その中から地区役員へとつながりはできつつあり、今後は、太鼓保存会だけでなく、地区行事（祭り事）についても、保存会と連携し、人材の確保をしていき、ある程度高齢になっても地区の為に活躍の場を設けたいと考えています。

■拠点・施設・環境について

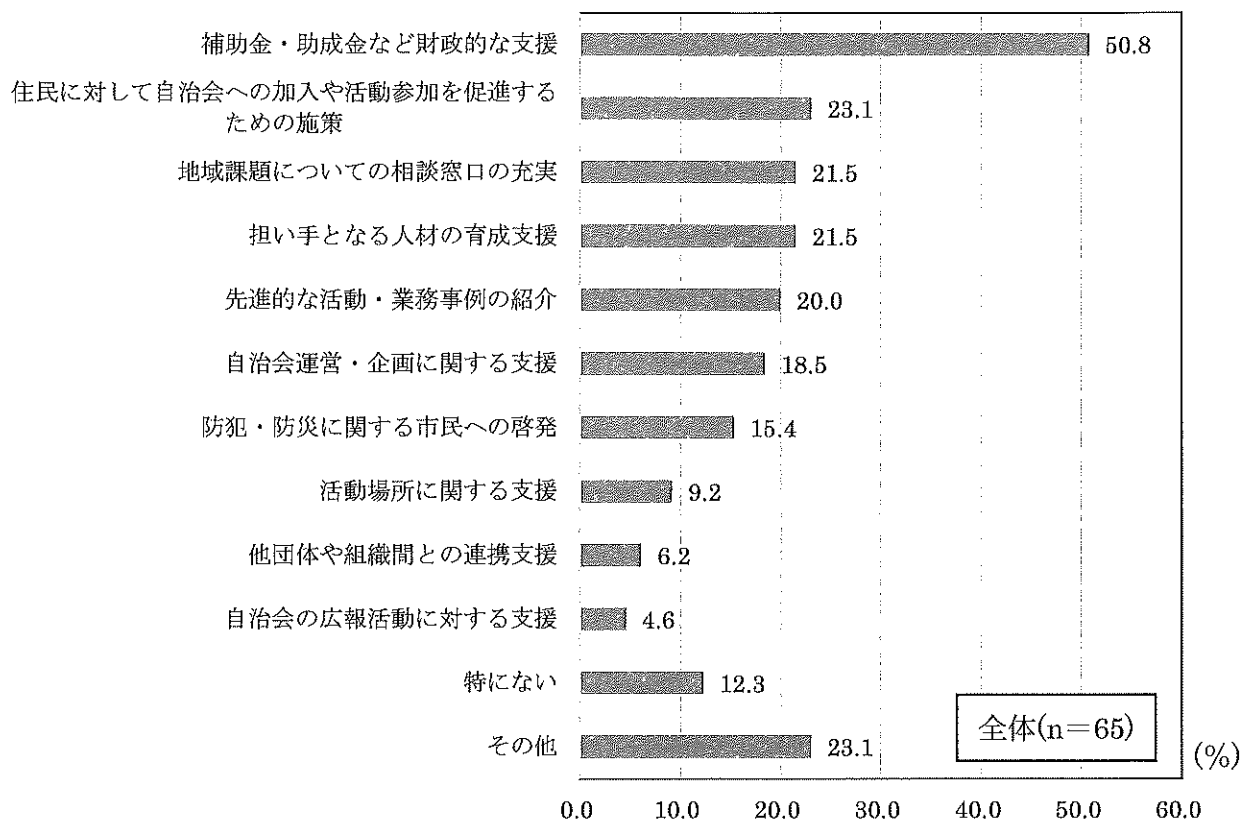
空き家については、相続人に文書で依頼しているが、放置されたまま。市の方からも働きかけてほしい。

やしろ商店街所有の街路灯が倒壊する事象が発生しました。幸いにも人身事故には至りませんでしたが、今後同時期に設置された街路灯に不安があります。市議会でも取り上げられましたが、市は特に対応しないとの事でした。もし倒壊により人身事故が発生した場合、商店街・自治会とも財力はありません。街路灯を所有しているものは、撤去する方向であり、自治会は新設していきますが、以前と比べて設置数も照度も減少し、防犯上問題があると感じます。安全安心のまちづくりを称える加東市として何らかの対策が必要ではないでしょうか。特に、神姫バス社庫前から商店街までの道路は、学生・通勤者が多く心配です。この間だけでも照明の設置に取り組んでいただけないでしょうか。

問3の1・3・6は方策あれば教示下さい。18（交通が不便・移動困難）は一人世帯が増えて（高齢世帯）くれば、公共交通の確保の要望が高まると思う。
問3の11空き家の管理について、都市政策課に手だて等の依頼をし、家屋の所有者に連絡をとってもらったが、当事者は動く様子無し。
空き家が崩れて道路に広がっているが、所有者と連絡が取れず、応急処置としてビル建設現場のように取り囲んでほしい。（費用が回収できない為、難しいと思いますが）
問3の13防犯に関する取組について、地区内で起きたことを文書で周知している。また、費用は掛かるが防犯カメラの増設を予定している。
企業誘致。
■情報について
月1回村の情報誌を発行することで、情報の提供や必要課題を啓発し、住民の主体的参加を促すことができた。
地道に情報発信に努める。
■生活支援について（福祉サービス等含）
独居高齢者の定期的見守りや買物支援、病院への送迎。
■その他
市役所生活環境課との連携。
気持ちを長く持つての活動だと思います。何事もネガティブに考えず、ポジティブに良い方向へと考えています。
他の地区ではあるが、障害者のグループホーム開設に向けて住民説明を聞いたことがあるが、特に精神障害者に対する偏見は根強くあることを感じた。加東市の障害者理解の低さをつくづく感じている。

問5 地区・自治会運営について、行政（加東市）や社協（加東市社会福祉協議会）に求めることは何ですか。【複数回答可】

「補助金・助成金など財政的な支援」が(50.8%)と最も高く、次いで、「住民に対して自治会への加入や活動参加を促進するための施策」(23.1%)の順となっています。



■その他

- ・地区内の建物・道路などの環境整備。
- ・報告事項（事務的な書類）が多すぎる。
- ・各種委員等の人選相談。誤認防止。
- ・DXの推進による紙媒体の配布物の少量化。
- ・行政機関の連携を切に期待する。（配布物や報告書等、行政各課が連携すればかなりスリム化できるはず。小中一貫による小学校の閉校は、地域のつながりの希薄化をより増幅するものと考えられる。行政の本気を心より期待する。

■選択項目の補足意見

- ・各地区の収入源や財源の格差があり、当地区の収入源は、ほぼゼロに等しく、個人負担で賄っている状態である。
- ・財政的な支援は必須だと思う。
- ・高齢者の移動手段（買物）について、もっと使いやすい（デマンドタクシー）方式に変えてほしい。意味が分からないし、利用方法がややこしくて理解できない。
- ・社協の事業活動が市民に見えてこない。
- ・村内の道幅が狭い。そこで、道沿いの溝（水路）にグレーチングのような蓋をして道幅を広げるための技術面と財政面の支援がほしい。

- ・ある催しの為に（地域福祉のためにという理由で）、75 歳以上の名簿がほしいと依頼したら、名簿（住所と氏名、生年月日）をもらえないか。毎年、案内を送付するにしても、誰が 75 歳に到達又は以上なのかわからない。個人情報であることはわかるが、把握しておかないと漏れ落ちが生じてしまいます。
- ・当地区は企業等もないため、1 軒当たりの年間負担金（協議費割）は高い。例えばある人は、年間 7 万円の協議費を払っていた。地区内からの不満も少なからずあり、大きな問題となっている。
- ・各担当の職務内容・参加の曜日・所要時間・年参加回数（月）などが、記載されたものがあると、委員等と引き受けてもらう時、誤認防止できると思う。
- ・要支援者の情報共有
- ・「出前講座に依頼があれば行きますよ」というスタンス。声がかからなかったら「やりませんよ」と受動的に聞こえる。積極性は全く感じられない。
- ・公民館やお堂等の老朽化が懸念される。地域の重要拠点であり、有事の避難場所でもある。収入のない自治会への改築助成を期待する。
- ・高齢者の状況確認をお願いしたい。
- ・高齢化で作業が難しくなってきた。

問6 地区・自治会で、新たに取り組みたいことは何ですか。
(提案だけでも結構です)

■地域（団体）・組織の活動、運営について（地域のつながり作り等含）
助け合いの組織を立ち上げる。
地域の再編。
災害時の避難訓練。
地域の伝統行事や歴史、言い伝えなどを残していきたい。
地区運動会等地域住民の新たな交流。
世代間交流の活性化。
夢のある地域・自治会創成。
佐保神社の秋祭りを一部の人々だけではなく、住民全体の行事としていきたい。
行政による自治会の統合。
楽しいイベント。（ポッチャ、もちつき大会など）
今までの継続催しから新たな企画を考えて、今年はそれを実行した。しかし、コロナ禍で参加者が激減した。
地区内の休耕田を活用して、家庭農園をできる場所を住民の方に提供して、野菜作りの中から住民のコミュニケーションが生まれ、地区の活性化につながるのでは。（地区農会と協力要！）
催しを増やす。（とんど・花見・祭り・懇親会）
当地区だけでなく、福田地区として課題を共有して福田地区の教育・福祉・文化の発展を願いたい。
当地区の別荘地には130余軒の住居があるが、自治会がないため我々が負担している部分がある。特に独居人・避難に支援が必要な人もおり、地区内での対応で精いっぱい状況。（緊急時） よって、自治会組織を立ち上げるよう支援する。又は、不可能な場合、別荘地の管理者である公友不動産が窓口になるように話し合ってもらいたい。
当地区の収益は共益費のみ。固定安定収入を考えるべきである。地区住民3000人、世帯数1350戸、組再編を検討している。（数年をかけて）
なぜゴミの分別をして出さなければならないのか。なぜ三世代交流事業をやっているのか。等々「なぜ」に応えられる自治会役員でありたい。
■人材・担い手について（役員の負担・少子高齢化等含）
女性の自治会への参加。
女性役員の登用。（組織の一部改編）
女性の自治会への参加。（戸数が少ないので今後の運営が大変厳しい状況である）
■拠点・施設・環境について
防犯カメラの増設に際し、そのような予定をしている地区の意見をまとめ一括して購入できれば費用の節約（少しでも安くなる）になる。

■情報について
地区内での回覧などの迅速な伝達方法の工夫。
問5の9について、どんな活動・事例があるのか、確認できれば今後に活かしたい。
■財政面について
当村には、現在田んぼが約70ha以上あり、その内約30haは営農みのり（農協）・株式会社玄米家が耕作しております。残りの約40haを村の住民である65歳以上の12、13名で耕作され、後継者もない状況となっています。この村の若者が、担い手となり耕作機械の大型化・自動化を図り、年収が400万円～500万円ほどになれば、若者も定着すると思いますので、国・県・市よりの援助をお願い致します。
■その他
これ以上行事を増やしたくないです。
雑用をもってこないでほしい。

問7 地域福祉の推進について、必要だと思うこと、ご意見ご要望等、ご自由にお書きください。（自由記述）

■地域（団体）・組織の活動、運営について（地域のつながり作り等含）
近隣のお互い様、支え合いなどの助け合いの機運の醸成。
世代間交流の障壁を取り払う。
コロナ禍後の地域行事やコミュニケーションの復活。
高齢者家庭のご近所さんたちによる見守り・支援。
コロナ禍による地域のつながり希薄化は、大きな課題である。実質的効果につながる民生委員や保健衛生委員の研修が求められる。
喫茶〇〇、いきいき体操等、高齢者が主に集う活動を開催したいところだが、インフルエンザ・コロナウイルス等の影響も考え、二の足を踏んでいるところ。
地域の少子高齢化が進む中、話し相手のいない高齢者、友達や家にいる親が不足する中、子どもと高齢者をつなぐ行事をもっと増やしたいと思います。
当地区は農村地帯であり、高齢者の中には農業に従事し、老後の生活に不安（年金が少額ないため）を感じる世帯もある。（プライバシーの問題もあるので深くつっこめないが）金銭面で不安のある人には、協議費の減額等で支援しているが、それ以上の助力は本人の意向もありできない場合もあるし、村としてそれ以上はできないのが現状。何かいい方法があれば教えていただきたい。
独居世帯の訪問を増やす。
自助・互助・共助・公助とあるが、人が集まることが基本と思っています。人口減・高齢化・少子化と言われる中、当地区のような小地域では空家が発生してゆくと人は減り上記のような～助などなかなか考えにくくなってゆきます。そこで、現状を維持させるための人の確保、世帯の確保につながる、地域の努力に対し、アドバイス等をはじめ地域努力を地域のために使える財政支援など新たな施策も考えていただき、何よりも地域発達の結果に結ぶつく評価も取り入れるなど、行政のみならずの展開を図っていただきたい。
人権学習については、非常に難しいと感じています。毎年一回は地区内で学習会を催していますが、マンネリ化の状態です。参加者も年々減少傾向にあり困っています。もっと住民の方が、楽しんで参加していただけるような学習会が企画できれば。
住民が集まってワイワイやる場。高齢者が集まって楽しめる場の設定（ボッチャ大会とか）
■人材・担い手について（役員の負担・少子高齢化等含）
若手の行動力が必要だと思います。
各地区とも高齢化が進行中なので、若い世代の移住者が増えるよう、県と市が連携して、移住者を優遇する施策を行っていただきたい。
地域で取り組むことも必要と思うが、それだけの余裕がある人が少ない。
要支援者の協力は重要ですが、もうすでに自治会としても老々介護になっています。なんとかしなければと思っています。
■拠点・施設・環境について
防災施設の拡充、防災教育の推進。
福田小跡地利用について、行政に提言しているところですが、まず、消防署福田分署を設立して、住民の福祉向上に努めてほしい。

高齢者集合住宅の設置。(学校跡等)
■情報について
常にアンテナを高くして地域についての情報を正しく把握しておくこと。
高齢化で困ってしまう前に、出来ることからやっていく必要があると思う。先進的な事例をどんどん市民に情報発信していただきたい。
■生活支援について（福祉サービス等含）
老齢介護の充実。
高齢家庭への生活支援。
買い物や通院の支援。
我々が住む地域は通院にも買い物にも不便なところである。移動手段として「きよみずバス」を運行しているが、週2便でかつ、運行経路が決まっているため小回りができない。このため、社協が実施している「福祉有償運送事業」の対象者の範囲拡大ができれば有難いと思う。
集合住宅の独居老人の把握ができないのに、集合住宅の独居老人からの福祉等の要求がある。どのような対応が良いか。集合住宅入居者は行事、日役、ゴミ当番は免除している。地区からサービス提供はいかがなものか。
家原市営住宅の中で困っている方が（福祉）いらっしゃる。市から直接その方々に要望を聞いてほしい。
■財政面について
福祉活動に参加してもらえる方（民生委員等）への財政支援を大幅に増やしてほしい。特に使途についての取り決めが自由に使えるように、全体的ですが補助金・支援金には制限が多すぎて困る。「自助」という言葉が出てきていますが、そのことを確認、決定するなどの機関が、当地区にはないのですが、まだそのことに対する話題も出てきていないのが現状です。
■その他
・問2, 4, 6の設問に対し「特になし」という回答をしました。このような回答しかできないことが問題だと思っております。考えてみれば、地区の事業も前年度の事業を踏襲しているだけで、課題があることを認識しているものの、これまでの新たな発想、取組がなく、地区運営に関して積極的な姿勢に欠けていると反省しました。 ・ある地区で精神障害者のグループホームを開設しようと地元説明会を開催したところ思わぬ反対意見があり、ホームの開設を断念したということがあった。障害者に関わりのないところでは理解を示されるような人でも身近な問題となると偏見が顔を出すということだと思います。反対された人には、おそらく偏見という意識はなかったのでしょうか。これはどこの地区であっても精神障害者のグループホームの開設となるとおそらく似たような反応があるのではないかと思います。理解は、知ることから始まります。人々の意識の改革には啓発が必要なのだとすることを強く感じました。地域福祉の推進を担う社会福祉協議会が地域福祉の為に何をしているのかということ、そもそも社会福祉協議会とは何かということを一人数でも多くの人に知ってもらえるよう努めなくてはならないと思います。それには地元地域の協力も欠かせないものと思います。 目標達成のためより具体策を考えて記載すべきと思う。例えば、市の障害福祉計画などは、6期もその前から実現のための方策として書かれているのは「連携を強化しサービス事業者に働きかける」であるが、あまりにも策がなさすぎる。思いのない担当者では、地域福祉の向上は求めても無駄とあきらめている。(市の第7期障害福祉計画のパブリックコメントを求めると、広報に載っているが、書いても届かない。福祉を推進するのは結局は人なので、と書く気にならないと思ったばかりなのですみません。)
8年以上自治会長をして、これ以上気力なし。

「加東市地域福祉計画・加東市社会福祉協議会地域福祉推進計画」
策定のための地域福祉に関する意識調査
報告書

- 福祉団体
- 区長・自治会長

令和6年2月

企画・編集 加東市・加東市社会福祉協議会